



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 4月号
令和7年4月7日発行

種を 蒔く

季節は巡り、三笠の里に春がやってきました。本日令和7年度がスタートし、緑濃き三笠の丘の学び舎に子どもたちが集いました。子どもたちは進級した喜びや、それぞれの思いを胸に今日の日を迎えたことでしょう。新2年生が植えたチューリップの球根も、寒い冬を耐えつばみが膨らみ美しい花を咲かせるのを待っています。教育は種を蒔く営みです。今年度も子どもたちの心に多様な種を蒔き、栄養を与えそれぞれの花が咲くように保護者・地域の皆様と「すべては子どもたちのために」手を携えて歩いていきたいと思っております。これまで同様に温かいご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて令和7年度は新入生16名を迎え、全校123名でのスタートとなります。進級した子どもたちの顔は希望に満ちており、今の子どもたちのこの気持ちを大切にしながら、全員が自分らしさを発揮できる、また互いを尊重できる学校を創りたいと思います。学校の1番の使命は「子どもたちに学力を付けること」です。学力とは何か。点数化されやすい学力はもちろんのこと、粘り強さや協調性、自信、自制心など幅広い力や姿勢をも含みます。予測困難な社会を生きる私たちにとって、課題を前向きに捉え、他者と協働し、よりよく問題を解決し新たな価値を生み出していく力が求められています。教育活動全体を通して、「子どもの主体性をはぐくみ、尊重する」ことを柱に据え、子どもが主役の学校創りに努めます。

そのためにも、昨年度同様に保護者・地域の皆様には、三笠っ子との「つながり」を持っていただけますと幸いです。子どもたちは人とのつながりの中で大きく成長します。早速に今年度のクラブ活動においても多くの地域の先生方にお世話になる予定です。本校の教育目標であります「確かな学力と豊かな心の育成」に向けて、子どもも教師も「学校に行くのが楽しみだな。」と思える学校を目指します。

第3回学校運営協議会

去る3月26日(水)に、令和6年度第3回学校運営協議会を開催いたしました。令和6年度を振り返り学校運営を評価いただくとともに、令和7年度に向けての展望についてご意見をいただきました。

評価といたしましては、「先生とこどもが一体となった、思いやりや優しさに溢れる1年であり、学年を超えて助け合い支え合う子どもたちの姿が見られた。」「デジタル機器を効果的に活用し、グループ学習なども取り入れて深く学んでいた。」「PTA会長として学校の活動に参加し、PTAのあり方が問われる中、三笠小の保護者はとても協力的で嬉しかった。」「子どもが挨拶をしてくれてうれしかったが、100%ではないので、もっとできるとよい。あいさつは人と人をつなげる大切な行動だと思う。」「

次年度に向けての展望といたしましては、「学校・地域・家庭が目指す子どもの姿を今後も共有していく。」「防災教育の充実に向けて、地域と連携しながら訓練を続けていけるとよい。」「運動能力を向上させるために放課後の運動場の開放や水泳学習の充実などを望む。」「子どもたちの良さを伸ばしていけるような取組を考えていきたい。」「心身を健康に保つための知識も子どもたちに入れてやるのが大切。」「環境に目を向けたごみ拾いの活動なども充実させてほしい。寺川の探検やそこで調べた魚やごみの発表もとても良かった。」「給食の残食はどうか。健康な体つくりのために、なんでも残さずに食べる子を育ててほしい。」等のご意見をいただきました。

運営協議会の委員の皆様には、いつも三笠小学校の応援団として、御示唆をいただきまして誠にありがとうございました。いただいたご意見を具現化し、三笠っ子のよりよい成長に向けて教育活動を推進します。

校 長 高峰 真実 教 職 員 一 同

